

9月末の人口
世帯数 558世帯
男 697人
女 688人
計 1,385人
(馬路 1,035人)
(魚梁瀬 350人)

広報
うまひ

平成3年10月15日発行
第一四二号
編集 馬路村教育委員会
印刷 安芸タイプ



特集! おらが村、心臓やぶりフルマラソン大会

今月のスポット

<8 月>

- 17日 断酒会
- 19日 健康相談
- 21日 健康づくり推進協議会
- 27日 国民年金の会
- 28日 親子料理教室
- 29日 リハビリ教室

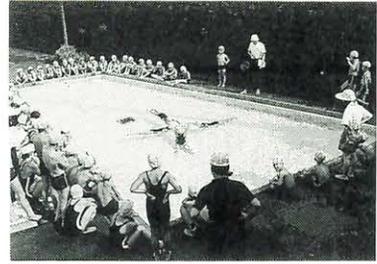
<9 月>

- 2日 農業委員会
- 3日 選挙管理委員会
- 6日 社会福祉協議会
- 9~10日 親子読書会
- 10日 敬老会（馬路）
- 11日 議 会
- 12日 敬老会（魚梁瀬）・農業委員会
- 13日 行政相談
- 15日 おしどりマラソン大会
- 17日 議会運営協議会
- 22日 保・小・中運動会（魚）・県体（ゲートボール）
- 24~26日 議会定例会
- 27日 いきいき大学
- 28日 断 酒 会
- 29日 フルマラソン大会

<10 月>

- 1日 入 札
- 4日 臨時議会
- 4~6日 夢・恋人湯袖ツアー
- 6日 保・小・中運動会（馬）
- 9日 リハビリ教室
- 11日 人権相談
- 15日 古式行事弓射式（魚）

フォト・フォーカス



▲校内水泳大会（9月3日）



▲敬老会（馬）（9月10日）



▲ハシ拳大会（魚）（9月14日）



▲湯袖ツアー（10月4~6日）



▲消防操法（10月11日）

村内あちらこちら

特集

おらが村・心臓やぶりフルマラソン

村民のみなさま ありがとう！

村民のみな様、ありがとうございます！
おかげさまで第一回フルマラソンは、大成功のうちに終了いたしました。

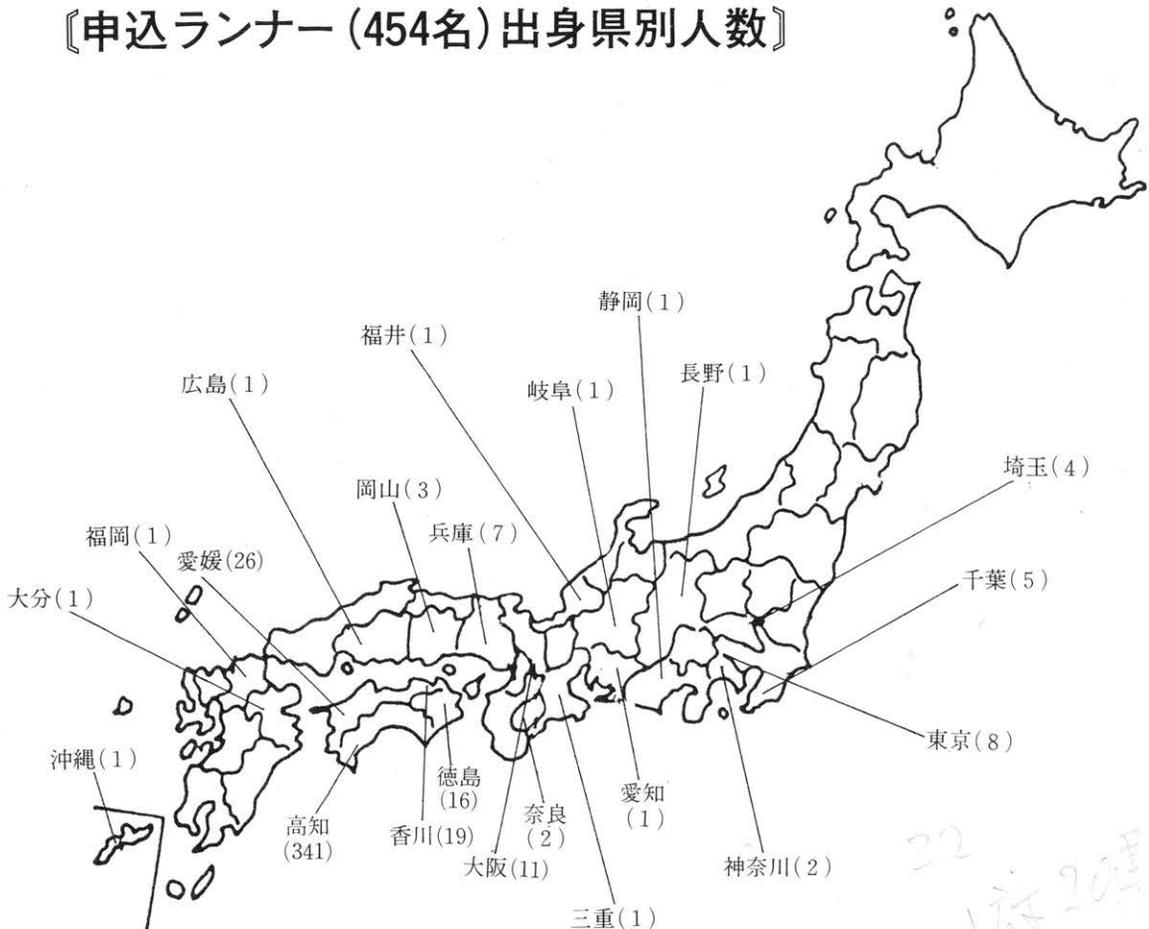
ボランティアで何日も協力、ご尽力下さった、馬路村体育会（八団体）・青年団・婦人会・郵便局・消防団・警察・交通指導員・農協・森林組合・ニチフ端子高知工場・観光協会・商工会・小・中・保育の先生方、無理をお願いしました営林事務所、旅館、骨をおって下さった村議員のみなさま、森林鉄道を走らす会、写友会はじめ、各団体、村内企業、個人の関係者のみなさま、沿道で長時間声援を送り続けて下さった村民のみなさま、多忙な時間をさいてのご協力に、厚くお礼申し上げます。

大会事務局には、ランナー達から、毎日お礼の電話や手紙が殺到し、この大会が、いかに有意義なものであったかを、ものがたっております。これも村民一丸となつての協力態勢があったればこそ、影で支えて下さった村民のみな様のお力添えのおかげと、感謝申し上げます。

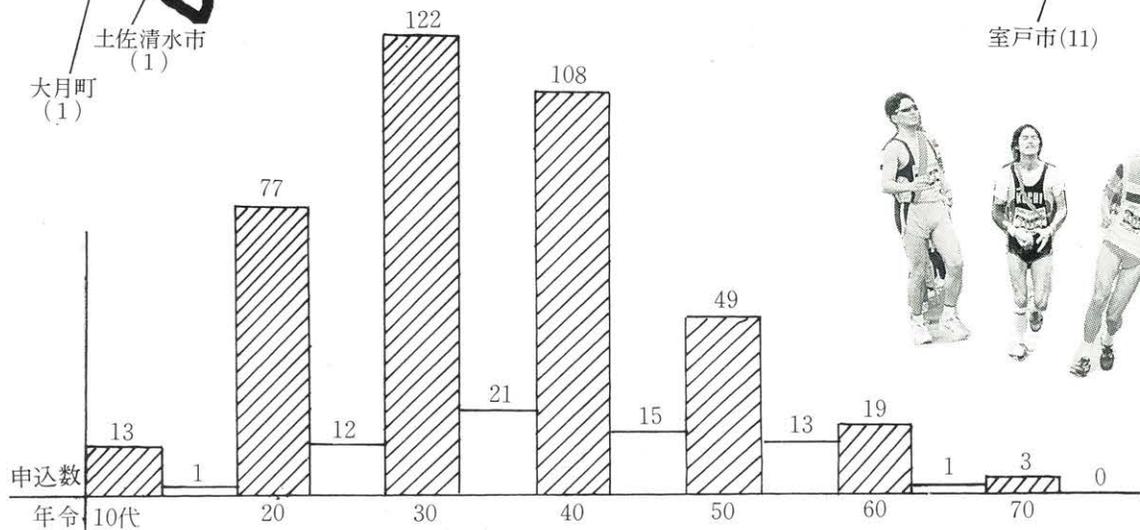
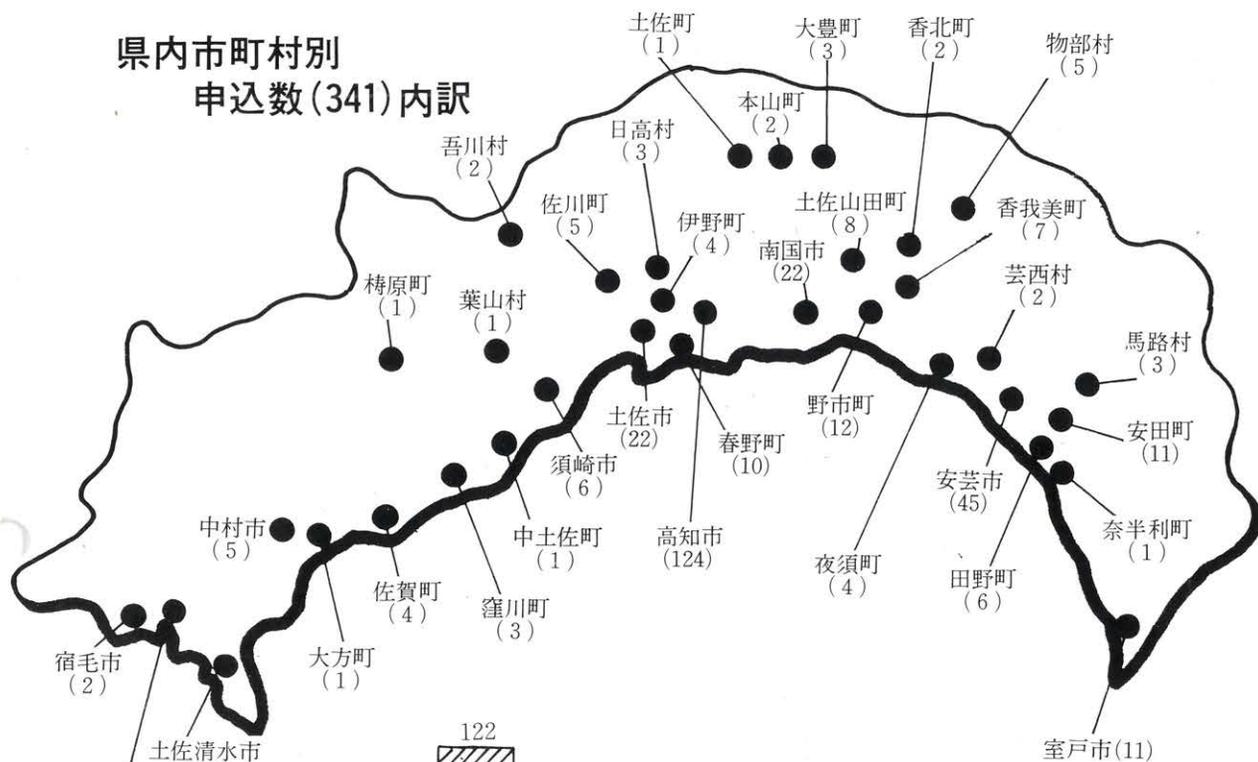
このフルマラソンは、今号でも特集を組みましたが、とても掲載しきれませんので、文化祭で、その写真集等を発表し、ご覧いただきたく思います。

ご協力ありがとうございました。
フルマラソン実行委員会

〔申込ランナー(454名)出身県別人数〕

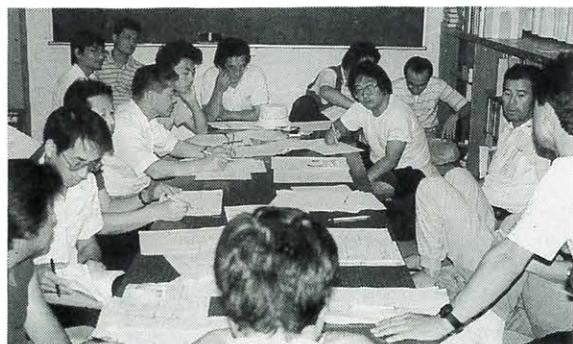
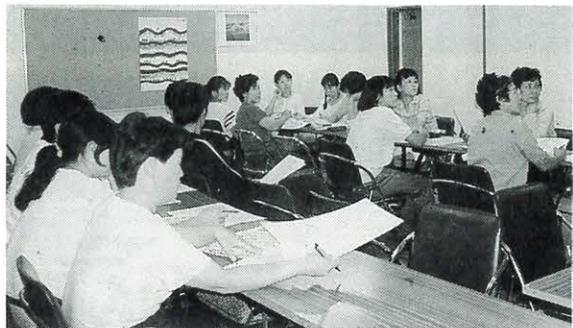


県内市町村別 申込数(341)内訳



〈男女年代別申込者数内訳〉 男 女

- | | | |
|---|--|--|
| <p>(70代完走者名: 年令順)</p> <p>石神良平 (76才) 静岡県
小松泰三 (74才) 安芸市
谷口憲生 (70才) 須崎市</p> | <p>(男子の部)</p> <p>一位: 宮地敏行 (23才) 佐賀町
2時間41分33秒
二位: 溝口章司 (28才) 高知市
2時間42分10秒
三位: 佐藤長武 (29才) 徳島県
2時間46分43秒
四位: 杉野誠一 (31才) 野市町
五位: 小松憲次 (38才) 安田町
六位: 美野英明 (42才) 香川県
七位: 泉野訓宏 (25才) 徳島県
八位: 今西文明 (32才) 佐賀町
九位: 梅舎邦光 (42才) 香川県
十位: 川上祐造 (27才) 岡山県</p> | <p>(女子の部)</p> <p>一位: 中田奈美 (26才) 高知市
3時間27分40秒
二位: 車春恵 (44才) 千葉県
3時間35分12秒
三位: 高橋千恵 (37才) 土佐山田町
3時間36分47秒
四位: 門田朋子 (24才) 南国市
五位: 逸見都 (41才) 愛媛県
六位: 久保可奈 (26才) 馬路村
七位: 久礼田香奈 (26才) 土佐市
八位: 岡村民 (54才) 野市町
九位: 大川倫子 (47才) 東京都
十位: 井上美香 (31才) 高知市</p> |
|---|--|--|



第一回おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会は、申込者（四五四名）参加者（四〇四名）という予想を、はるかに上まわる盛大な大会となった。前日は、大型台風が日本列島を襲い、参加者にかんがりの欠席がでるのではないかと心配されたが、遠路、熱心なランナー達は、さまざまな交通路を駆使して参加、関係者をホッとさせた。

（四二・一九五キロ）を完走したランナーは、三七八名であった。参加ランナーの中には、この大会がフルマラソン参加百回目の記念大会だといわれる、神奈川県竹田昭彦さんや、国内外を走破しておられる東京の

住田恵一さん等の超ベテランランナーから、初めてフルマラソンに参加するという初心者まで、実にバラエティーに富むものであった。

出身県も、北は長野、埼玉、南は沖縄までと全国的なものとなり、年令も十八才から七十六才までと幅広く、特に、七十代三名の健脚ぶりは、驚異的なものであった。

一方、村の人口の約三分の一に当る参加者や家族の来村とあって、村では、村中あげての大会態勢をとり、連日連夜大会にむけての打ち合わせや、会合がなされた。中には、一家総出で、この大

会のために、ボランティアを惜しまない家もあった。（その様子のほんの一部を、写真にて、紹介してみましたのでご覧下さい。）

台風と雨にたたられた準備期間、沿道を色どるはずであった、各家庭から運び寄せられた「花いっぱい運動」の花は、台風被害をともに受け、茎だけの哀れな姿になっている所もあり、関係者の落胆ぶりは、いかにばかりであったろうかと思われる。

台風の被害は、そればかりでなく、走路は落葉や木切れで、うずまり、たくさん村民の手を、わずらわせる事となった。

台風にふりまわされた大会前ではあったが、当初、心配された車の立往生や、一番案ぜられた、大きな事故もなく（これも連日、確かな経験と知恵をしぼって下さった警察や、かつて魚梁瀬ダムでおこなわれた、湖上コンサートでの教訓を元にした結果ではあるが）大会当日は、暑すぎず、寒すぎず、ランナー最高の日よりとなって、関係者を大喜びさせた。

馬路、魚梁瀬村民、各団体の大会への惜しみない協力に対しては、もちろんの事であるが、前夜祭の準備や食堂に、当日着用する和服づくりにと、何日も何日もボランティアで労を重

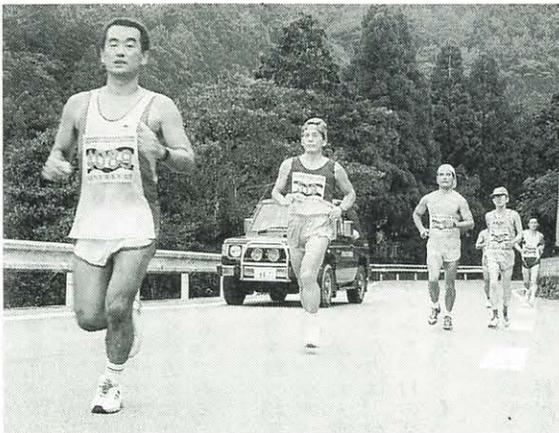
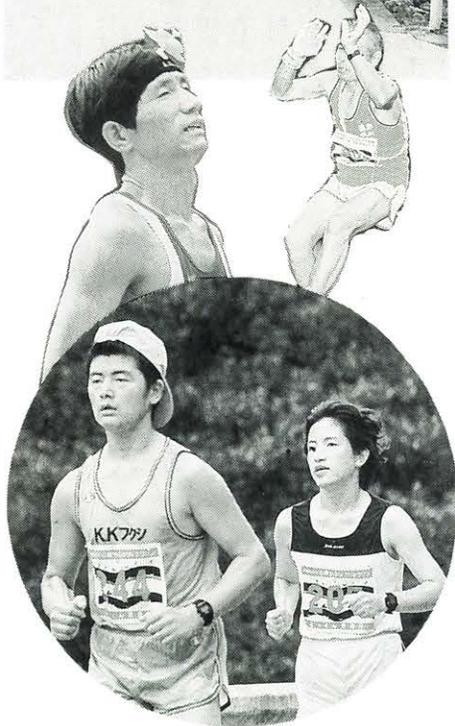
ねて下さった婦人会、沿道の草刈りに明け暮れた青年団、ランナーや関係者のお弁当づくりに日夜働いて下さった農協婦人部、毎日変わる宿泊者に、苦勞させられたであろう旅館の方々には、唯々、頭の下がる思いである。

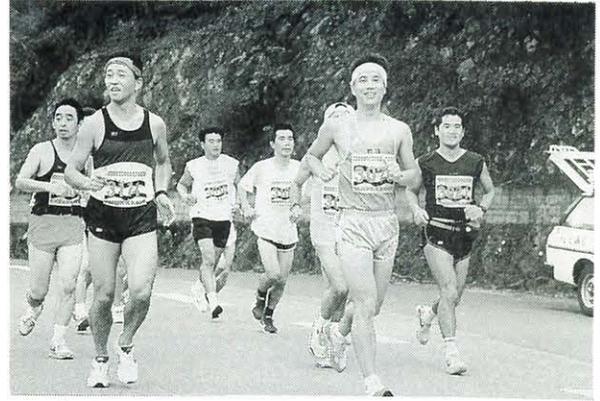
フルマラソン大会を行う場所としては、さまざまなハンディを持つ小さな村で、かくも大盛況に終える事ができたのは、村をあげての取りくみと、村の活性化へむけての心意気が、あつてのこと。

第二回大会が、よりよい形で実施されるかどうかは、村民の手の中にある。



フルマソン
写真集







第 12 回

おしどりマラソン大会 開催される!

九月十五日、恒例のおしどりマラソン大会が行われた。大会は、十二回目となり、愛知県や山口県等からも参加、百二十三組(二百四十六名)のおしどり夫婦が参加しての大会となった。フルマラソンの元祖ともいえるこのおしどりマラソンは、結婚記念に走りたい、夫婦の思い出に走りたいという、仲良し夫婦の間に、静かな人気を呼んでいる。夫が妻の手を引き、妻が夫の手綱を引きしめ走る姿には、ほのぼのとしたものが漂う。



- (10回連続参加賞)
寺岡浅市 安芸市
愛子 安芸市
- 白石浩一 芸西村
洋子 芸西村
- (5回連続参加賞)
田村二郎 高知市
安子 高知市
- 門田 敬 安芸市
明子 安芸市
- 大北紀二郎 安芸市
信子 安芸市
- 入野惣市 安芸市
まゆみ子 安芸市
- (長寿夫婦賞)
曾我 稔 (74才)

- 秋子 (67才) 安芸市
 - (熟年夫婦賞)
村田泰信 (66才) シツ子 (67才) 愛知県
 - (若年夫婦賞)
田中 勤 (18才) 有子 (18才) 高知市
- 他に県外初参加特別賞に四組の夫婦が、又遠隔地参加賞に一組の夫婦が選ばれた。



魚梁瀬中だより

— 県下 中学秋季選
手権大会 女子卓球
部 団体 ベスト八、
個人 中景子 三位入
賞 —

九月十四・十五日の両日、県民体育館で行なわれた県下中学卓球選手権で、女子卓球部は一日目団体戦予選リーグを朝江、城東を連破して決勝リーグに進出しました。明徳中と善戦し、おしくも敗れましたが、見事ベスト八入りを果たしました。団体戦では初めのうち調子が出ま



(女子卓球部)

右から
尼岸磨知子先生
中 綾子一年
近藤 由美一年
井上 和香三年
中 景子三年
山崎 忍三年
(坂本まゆみ)三年
当日病気で欠席

せんでしたが、慣れるに従って実力を発揮し、全体のチームワーク、一年生のコンビの良さもあり、女子卓球部では団体最後の公式戦になるかもしれないという気持ちもあつて、必死に戦いました。又、個人戦では、主将の中景子が準決勝まで勝ち抜き、土佐女子中学生ばかりの中であだ一人、県卓球史上に残る三位入賞を果たしました。三年生の山崎忍もベスト十六、井上和香もベスト三十二入りを果たし、団体戦最後の戦いに花を添えました。夏休み期間中も猛暑の体育館で練習を見守ってきた

尼岸先生の日頃の指導があつてのことです。応援にかけつけてくれた卒業生の皆さんや、御父兄の皆様へ感謝申し上げます。

陸上部健闘 中芸地区秋季陸上大会

先日十月十一日(金)、安田中グラウンドで開かれた秋季陸上大会で創部半年目にして、好記録を出し健闘しました。生徒全員出場したものの、学校得点では中山中に0.5差で惜しくも敗れましたが、走り高とびで、福岡孝行君が1m55cmを記録し優勝・800m走でも乾貴史君が二位。女子100m・200mで近藤由美さんが、それぞれ二位になり、入賞が続出しました。1500mでは、一年生の井上真共君が四位、女子200mでは山崎忍さんが五位と、日頃の練習、早朝の学校三周走の取り組みが、実を結んだ結果が見えてきました。更に郡陸上大会へと、選手一同が心を合わせて頑張っています。

第29回高知県 へき地教育研究 大会 ニュース

(木工クラブ・郷土
クラブ 夏期合宿)

来る十一月二十・二十一日の両日、魚梁瀬小中学校において県へき地教育研究大会が開催されます。

中学校は主に生徒会、クラブ活動について研究発表を行いますが、クラブ活動の一環として、木工クラブと郷土クラブが七月下旬から八月月上旬にかけて合宿を行ないました。

木工クラブは「木の一生」を追って千本山からスタートし、高知の木材団地まで、四日間の合宿学習を行ないました。

山で育てられた木が建材や家具としてどういふふうに加工作られていくかを、馬路の工芸センターを含めてつぶさに見学、学習しました。



一方、郷土クラブは六月から早朝訓練を重ね、四泊五日のサイクリングに出かけました。

魚梁瀬一瀬ノ滝一木頭村一別府狭一竜ガ洞をめぐる全行程、二百数十キロをめぐる、四国山間部の旅行です。この旅では、魚梁瀬に落ちのびてきた平家の落人のルーツを訪ねるといふ学習が目的でした。

途中、霧越峠という標高千mに近い峠をこえ、木頭村では木頭中学生と交流したり、平という所では、平家の子孫である平繁盛さんという人からの伝説について話を聞きました。これらのことは研究大会で発表される予定です。



馬路村の
歴史と
伝説



〈通算第37回〉

民話第3話

馬路公民館長 山中、巖

彦蔵のとんち話

むかし藩政時代の末期、相名の古田に彦蔵というとんちのきく男が住んでいました。

ある日、藩から御留山改役人が馬路村へやってきました。庄屋は彦蔵に役人のお供をするように命じました。

役人は、
「彦蔵、お前は人をだますに上手なそうなが、今日はわしをひとつだましてみんか」と言いました。

彦蔵は、

「私はお役人をだましようたら、くくられるきにようだまし



ません」

とことわりました。

役人はいよいよ面白がつて、
「彦蔵、くくりやせんきに、ぜひわしをだましてみよ」としつこくせまりました。

彦蔵は、



「それなら、だましてみますが、人をだますには、一本の竹の棒がいります。今日は、あいにく切れ物を持っていません。

すみませんが、お役人さんの腰のものをちよつと貸してくれませんか」と言いました。

これを聞いた役人は、

「これは面白い。竹の棒でどうするか」と言いながら

「よし、よし」と言つて、腰にさしていた小刀を彦蔵に貸しました。

彦蔵は小刀を借りると、

「すみませんが、ここでちよつと待っていて下さい」と役人を道路に待たせました。

彦蔵は、すぐ向う側の竹やぶへ入つて行き

「これは大きい。これは小さい」とひとりごとを言いながら、竹やぶを奥へ奥へと入つて行き帰つて来ませんでした。

いつまでたつても帰つてこない

教育相談所だより

勉強する意欲がまったくない

最近、あちこちで、子どもの勉強意欲がないとのお話を聞きます。

どうすれば学習意欲が、出てくるものなのでしょうか。

子どもには、いろいろな個性の違いがありますから、あまり一般論を申し上げても、役立つかどうか疑問ですが、ここでは、もつとも基本的な点を、いくつか記してみたいと思います。

①成功の喜びを体験させましょう。

どんなことでもかまいませんから、成功の喜びを体験させて下さい。そして、ほめてやつて下さい。

②自分の好きな教科に力を入れましょう。

「算数も国語もだめ、絵を書くのが好きでも将来の入試には役立つまいよ」といったことは、まちがつても言わないで下さい。

一つのこと自信が持てるようになると、他の教科もやればできると思うようになり

「お姉ちゃんをよくできるのに、どうしてお前はだめなの。それでも同じきょうだいかしら。」

といった言葉は、本人に深い劣等感をもたせません。

③長所をほめるようにしましょう。

子どもには、どこか良いところがあるはずで

勉強はしなくとも、とても明るいとか、やさしい思いやりがあるとか。

よいところを見たり感じたりしたら、言葉だけでなく、態度でほめてあげて下さい。

④子どもの気持ちになつて接しましょう。

両親に認めてもらいたい、ほめてもらいたいと、お子さんは、たえず思っています。

注意したり、叱つたりした後で、

「おまえだつてバカではないのだから、やればできるはずよ」と言つたのでは、ますます学習意欲をなくすだけという

馬路村にて安芸保健所管内リハビリ 交歓会開催される

管内、1市、3町3村はそれぞれ、市町村ごとにリハビリ訓練を行なっています。昭和60年より隣、近所の市町村が互いの交流と親睦を求めて交歓会を行なうようになりました。今では、管内全市町村が一同に集まり、年1回、交歓会を行なっています。

今年、馬路が当番となり10月14日(月)馬路小中学校体育館にて盛大(?)に開催されました。

参加者は脳卒中やリウマチ事故などで身体が不自由となりリハビリ訓練が必要な方達です。車イスの必要な方、洋式でないトイレのできない方、階段の降りれない方もたくさんいます。当初うまじで開催できるのかと心配しましたが、住民課職員を中心に、多くの方の協力を得て、特設のトイレを作ったり、車イスが通れる用改善したりして、無事開催する事ができました。

また、会場を花いっぱいプランターで飾ったり、昼休み時にはうまじ民謡クラブのみなさんの踊りで、会をおおいに盛りあげてもらいました。

楽しい時間を過ごす事ができたのではないかと思います。

参加者 (スタッフ)

安芸市	16 (7)
奈半利町	13 (2)
安田町	13 (5)
田野町	13 (8)
芸西村	13 (5)
北川村	10 (6)
馬路村	7 (5)
計	85 (38)

プログラム

- 開会あいさつ
- 各市町村紹介と自己紹介
- 健康クイズとゲーム
- 昼食(踊り)
- 各市町村アトラクション

馬路村リハビリ教室のご案内

うまじ村では月2回(第2水・第4木)にリハビリ教室を行なっています。

身体が不自由でリハビリ教室に参加を希望される方は、下記にお問い合わせ下さい。

住民課衛生担当、または保健婦まで
(TEL 4-2557)

日常生活のなかに運動を取り入れよう

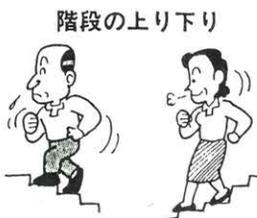
ジムに通ったり、健康器具を使ったりすることだけが体を動かすことではありません。次に挙げるようなことで、運動を日常生活のなかに取り入れるようにしてはいかがでしょうか。

なお、運動量の目安は1日約 200キロカロリー。これだけの運動量を得るには、それぞれどのくらいの時間やればよいのかの目安もここで挙げておきます。



走る

(1日、200キロカロリー消費するには、ジョギングで約20分、ランニングで約15分(体重70kgの人の場合))



階段の上り下り

(いつものスピードより早めに上下してみましよう。)



子どもと遊ぶ

(子どもと遊ぶのもエネルギーを使うもの。)



歩く

(1日、200キロカロリー消費するには、普通に歩いて約1時間、急ぎ足で約30分歩くとよい。)



おひらせ コーナー

し尿汲取手数料 改定のお知らせ

し尿汲取手数料は、昭和55年4月の中芸行政組合発足以来、11年間値上げをいたしておりません。

このたび、近隣の市町村の例なども参考に、見直しをいたしたところ、この間に、人件費の上昇や諸物価の値上がりなどもあり、値上げもやむ得ない状況となりました。

住民の皆さんには、諸事情をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

平成3年11月1日からし尿汲取手数料が次のように改定されます。

し尿汲取手数料

	現行料金	改正料金
180リットルまで	780円	1,000円
90リットルまでごとに加算	390円	500円

※なお、この料金は中芸5カ町村同一です。



(子供みこしづくりに追われる児童たち、昨年)

馬路村文化祭について

今年も又、文化祭が行われます。内容その他については、次のようになっています。ふるって、ご参加、ご観覧下さい。

日時 11月9日～10日
場所 馬路村体育館

展示内容 写真・生花・手芸品・農産物
工芸品・書道・洋裁・寒らん
児童による絵画・書道・工作
等が展示、出品される予定です。

又、11月30日は芸能発表会が就業改善センターで、12月7日～8日は馬路地区の秋祭りです。7日にはみこしの儀がとりおこなわれ、8日には、熊野神社において、神楽、相撲、村内各所には、獅子舞いもくり出す予定です。

高知県地場産業フェア開催について

高知で生産される製品・特産品等の素晴らしさを知っていただくとうと開催される「地場産業フェア」が今年も、11月16日(土)～18日(月)の3日間「高知だばさんセンター」で開催されます。

今年で8回目を迎えるこのフェアは、県下の特産品、珊瑚、打刃物、木製品、地酒、村おこし産品等を、展示、即売する他、和紙の手すき教室、木工教室等の体験学習コーナー、刃物の無料研ぎ、珊瑚の無料相談等の各種サービスコーナー、各種のアトラクションも数多く用意してあります。

また、会場には、約1,000台の駐車場もありますし、はりまや橋の名産センター前から高知駅を経由して会場まで、無料の送迎バスを、20分間隔で運行する予定です。皆様の、身近にある産業等を理解する絶好の機会ですので、ぜひ、お出かけ下さい。

税務署の窓口の変更について(安芸税務署)

税務署の窓口が変わっています。

これまで、「所得税は所得税部門」「法人税は法人税・源泉所得税部門」「消費税などの間接税は間接税部門」というように税目別に窓口が置かれていました。

今回これが、「個人は個人課税部門」「法人は法人課税部門」というように、原則として納税者別の窓口になります。

この結果、これまでは同じ人が、法人税や消費税について、別々の窓口に行かなくてはなりませんでしたが、これからは、一つの窓口ですむようになり、手間がかからず便利になります。

今回の変更後の、主な窓口は次のとおりです。

◆納税証明書をもらいたい時

所得金額の証明の場合、個人は、個人課税部門、法人は法人課税部門となります。

納税額の証明の場合は、個人、法人ともに管理、徴収部門です。

◆納付書をもらいたい時

納付書用紙は、各窓口に備えてあります。

◆個人で商売を始めた時

個人課税部門にご相談ください。

◆土地を売った時や相続税贈与税についての相談は…

個人課税部門(資産税担当)にご相談ください。

◆地価税についての相談は…

個人、法人ともに個人課税部門(資産税担当)にご相談ください。

◆消費税についての相談は…

個人は個人課税部門、法人は法人課税部門にご相談ください。

◆源泉所得税についての相談は…

個人、法人ともに法人課税部門にご相談ください。

門にご相談ください。

◆契約書や領収書の印紙税についての相談は、

個人、法人ともに法人課税部門にご相談ください。

◆酒類行政、酒税、免許についての相談は…

個人、法人ともに法人課税部門にご相談ください。

◆延納などの納税の相談は

管理、徴収部門にご相談ください。
なお不明の点がありましたら、安芸税務署(電話〇八八七三―五―三二一五)までお尋ねください。

雇用保険は正しく受けましょう (県雇用保険課・公共職業安定所)

雇用保険の失業給付は、失業した労働者の生活の安定を図り、再就職を促進することを目的としています。

ところで「一部にいつわりの申告」をして失業給付金を、不正に受給する者があつたとたず、社会的公正を欠くとともに、保険財政にも悪影響を及ぼしています。

労働省では、雇用保険制度を正しく運用するため十一月を「雇用保険『さわやか受給』推進月間」と定め、広報活動及び不正受給の防止、摘発活動に努めております。

採用年月日を偽って申告する。

○内職や手伝いをした事実及び収入を隠したり、偽って申告する。

○離職証明書、離職票、また各種の証明書を偽造、または改ざんして提出するなどの不正な手段により、失業給付を受けようとする事です。

不正受給防止について (事業主の方へ)

○従業員を採用にあたっては、雇入年月日等を正確に届けてください。

○従業員の離職にあたっては、離職票に離職年月日、賃金、離職理由等についても正確に

記載してください。

不正受給は「見つかつたら返す」
ではすみません

○不正に申告した日以降、支給停止します。

○不正に受給した金額は、全額返還していただきます。

○不正に受給した金額とは別に、同額を納付命令に基づき、返還させる場合があります。

即ち二倍の返納になることもあります。不正に受給した金額は、直ちに納めないと延滞金がかかり、返納を怠ると、財産の差押えが行われることがあります。また、詐欺罪などにより、処罰されることもあります。

不正受給とは

○就職(パート、アルバイト、試用期間も含みます)した事実を隠したり、働いた日数や



フルマラソン大会

ランナー達からのお便り

大会後、たくさんの方達から、感謝やご意見の手紙や電話をいただきました。ここにその一部を紹介します。

昨日のマラソンは、ほんとうにお世話様でございました。

私事、過去に交通事故にあり、二年十箇月の闘病生活の後、健康回復の為、ジョギングを始めまして、四十九才の時より、たまたまマラソン大会に出場する様になりました。

マラソンは初めてのことで、馬路の緑につつまれ走ってみようかな……途中歩いてみよ……などと都合のいいように考えて参加をお願いしたものです。

しかし、大会が近づくにつれ、不安がつつてきました。若い人達はどんどん走るだろうからあの山の中で一人になったらどうしようかと、出場の前日まで悩んでおりました。いっそ、とり止めようかなどと幾度も思っただことでした。でも、めったにないチャンスだからと、やっと思いを決して出場したのです。

ところが走り始めると、カーブごとに村民の方が立っていて下さり、ほんとうに安心して走ることができました。

又、山の中でも家のある所はすべて道路に出てお年寄までも応援して下さいまして、うれし涙が出ました。

馬路に着くといたる所に沢山の応援の方がいて励まして下さり、ほんとうに心強く、老体に勇気をあたえて下さいました。

私が初めてのフルマラソンに

規定の時間内にたどり着きましたのも、皆様方の心よりの応援があったればこそです。

これは私の力でなくて、皆様の方であって、表彰状は村民の皆様におあげしなければならぬと思います。

給水所も沢山作ってくださってあり、特に、ゴツクのジュースはおいしく力がつきました。あんまりおいしかったので、帰りに沢山買わせていただきました。

このマラソンを通して、馬路村の村民一致団結の村おこしの情熱をひしひしと身を感じました。又、袋の中には、立派な民芸品を入れて下さり、家族一同大喜びです。今後、大切に使用させていただきます。

この木の香りのする民芸品を見る度に、馬路村の皆様の御厚情を思いおこすことでしょう。

馬路村のマラソンは、私の人生にとって大きな糧となりました。このことを、心より感謝申し上げます。

馬路村の益々の御発展をお祈りいたしながら、ペンを置かせていただきます。

役員の皆様方にも、ずいぶん御親切を受けました。末筆ながら、よろしくお伝え下さいます。

かしこ

香美郡香我美町山北六〇一一一

貞岡由子(63才)

参加するにしても来年まで練習を充分してからだよなと思つて、まあ案内だけでも取り寄せようと思つたのですが、第一回目と馬路村にひかれて、私のフルマラソン初挑戦に選んでしまいました。

七時間あれば、はってでも行けるだろうなどと、樂觀的に樂觀的に考えて、なんとか時間内にゴールにたどりつくことが出来て、念願のフルマラソン参加の夢が叶いました。(多少歩いてしまつたけど。)

長い下り坂のあるコースは、不安もあるなあ。村内の周回コースは自分の走つてる位置が、わかりにくくてつらいなあと言う部分もありますが、皆様の暖かいもてなし、満喫させていただきました。

欲を言えば、亀ランナーとしては最後の方は、もつと細かく距離表示して頂ければ、もつと励みになるかな(30km以降は、1~2kmごととか)とも思います。

その代わり、給水所が沢山あつて、それはとても嬉しかったです。せつせと「ゴツクン」をいただいて、民家のトイレなどかりてご迷惑かけました。

終了後の温泉が、ほんとうに気持ちよく、走らなかつた息子も「又、あの温泉に行こうね」と言うほど気に入っています。

立派な完走証も頂き、素敵な名産品の参加賞(本来の目的は走ることですが、参加賞も楽しみのひとつなのは確かです)まで頂き、走らせてもらつて、「こんなにしてもらつて、いいのかなあ」みたいな気持ちです。

前夜祭は、「もつと盛り上がりなかなあ」と少しもの足りなかつたけど、前の晩にあんまり盛り上がりつても疲れが残るといけないし、これでよかつたのかもと思います。

自分が亀してしまつたので、馬路をゆっくり遊ぶ暇がなかったのが、ちよつと残念でした。来年は、もつと走り込んで、気持ちよく走り抜けるようになるばいいなあと思つています。今回の開催、どうも、ありがとうございました。とても楽しかつたです。

(追伸)

十五年前、サイクリングで魚梁瀬ダムへ行つて以来、妙に親近感を感じています。馬路の自然を活かした、このような村おこし、とてもすばらしいと思います。

これからは、ほんの10km山の中に入っただけで、こんなに空気がきれいになって、夜空の星がきれいになるなんて、これは日本の宝です。大切にして下さい。

高知市一宮一四七七コーポ一宮一〇三

牧本 静(33才)

その後皆さまお元気ですか。第一回おらが村心臓やぶりフルマラソンに、無事完走出来ましたのも、馬路村民、事務局の方のご支援と申します。ありがとうございます。ありがとうございました。

又、村民の素朴な心に接し、都会ではないものを感じとりました。マラソンに参加、完走することも大切ですが、人々とのふれあいあつての大会と思いたす。第一回ながらも大成功したこと、私、参加するだけでしたが、嬉しく思います。

今後ともよろしく願います。私も全国の地方大会に参加しますが、やはり田舎の大会はいいですね。一泊二日では、馬路村各方面を散策できず残念ですが、またの機会にしたいと思えます。

それでは、村民のみなさま、事務局ご一同様、杉の瀬橋で出会った観光協会会長の井上様初め役員のみなさま、これからお元気でがんばって下さい。馬路村の村おこしが今後発展することを願っています。

またお会いする日を楽しみに、お元気で。

大阪市住之江区南港中

五―五―三六―八〇三

西本和久(41才)

大会運営おつかれさまでした。とても気持ちよく走らせていただいた

いて感謝いたします。

村中の人々の暖かい気持ちやお心づかい、ありがとうございます。ました。

高知県でフルマラソン(市民ランナー向けの)が開催されることを、ずっと願っていました。が、まさか小さな(失礼)村がこんなすばらしい大会をやってくれるとは、

全国に自慢できる名物ができたことを、うれしく思います。ずっと続けて欲しいと思います。安い参加料でしたのに、とても、いたれりつくせりの内容(参加賞、バスでの送迎、入浴券や弁当 etc...)で、たいへんだったことでしょう。ありがとうございます。

次回からは今回のようにはいかないと思いますが、参加料ももっと高くしてもよいので、是非続けて欲しいと祈ります。

沿道での応援もありがとうございました。どれほど力づけられファイトが出たかしれません。登り坂が、あまり苦にならなかつたのは「がんばって」の声援のおかげです。

周回コースの最終では(タスキをもらって)距離表示が欲しかったです。周回の異なるランナーが混じるため表示しにくいと思いますが、何か最終周回ランナーにわかる工夫をして下さるとうれしいです。

給水所の方々が、あと何K位と言つて下さるのが、とても参考になりました。

そして思いがけず、中芸地区郵便局長賞で、素晴らしい書類箱(文箱)をいただき感激です。大切に使い、あちこちの走友に手紙を出す便箋や葉書、切手入れに活用させていただきます。ありがとうございます。

香美郡野市町西野

二一〇五―一六

岡村 民(54才)

フルマラソンは、このレースが初チャレンジでした。

制限時間が七時間というので、挑戦してみようと思い、参加させていただきました。

登り、下りありで変化があり、村に入つてからの周回コースも見知らぬ人同志、はげましい、いたるところで走っている人の姿を見ては、自分も頑張らねばという気にさせてくれるコースでした。

また、自然の中でのランニングは、心にゆとりがもて、とても楽しく走ることができました。

そして、充実したエイドステーションや、何よりも、村の方々の応援に何度も助けられ、無事に完走することができました。体は、ガタガタでしたが、完走した喜びと、人のあたたかさを感じながら、幸せな気分

途につきました。

本当にありがとうございます。来年も、ぜひ開催して下さい。必ず参加させていただきます。

最後に、たくさんのお土産ありがとうございました。

追伸

パンフレット等の絵がとてもかわいかったです。コース中の距離標示の看板も、次はどんな絵かな」と楽しみに走りました。

松山市元町八一四二

竹内雅美(25才)



「第一回おらが村、心臓やぶりフルマラソン大会」の関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

村民あげて大会を盛り上げ様と言う気持ちで伝わり、四時間四十分余りを楽しく完歩する事が出来ました。

事務局、ボランティア、沿道での声援等は、自分が体験した他の大会に負けていない様に思います。

来年は完全完走、四時間を切る事を目指したいと、痛い足をさすりながら思っています。

二回、三回と回を重ね、市民ランナーが、こぞって参加できる大会に育つて欲しいと思つて

おります。

気の付いた点を二、三あげたいと思えます。

①前夜祭での接待、料理等は申し分なく思いますが、何かアトラクション(地元の芸能、Tシャツ交換等)があれば、もっと盛り上がった様に思います。

②市民ランナー等、マラソン初参加が多いためか、途中足を痛めた人が目につきました。エイドステーションにエアースロンプス、サロメチール等があれば、自分を含め助かった様に思います。

③ゴール時が少し寂しい様に思えます。完走者全員ゴールテープ。テープも馬路村独自のテープにし、レイ、メダル等があればもっと感動のゴールが切れた様に思えます。

(追伸)

スタートの花火は、すばらしかったです。花火の音を聞いた時、ホルルマラソンを思い出した。胸にグッとくるものがありました。色書きしましたが、本当にありがとうございます。

第二回大会を楽しみにしています。よろしく願います。

室戸市喜浜町一五三二

森岡五十二(37才)

(赤ちゃん万歳)



私は川本あゆです。おじいちゃんもお父さんも私にはないしよにしているけど、本当は男の子がほしかったんですって。でも今はもう私にメロメロテレビのCMがはじまるとジッとみつけてしまうのよ。それで音楽に合わせて踊るのノ素敵でしょ！

お父さんとオフロに入りたいけど、髪を洗う時私が泣くのでイヤなんですって。今から「嫁にはやらん！」と言ってるこまったお父さん。笑うと目がとつてもかわいいあゆちゃんです。



川本あゆちゃん
平成2年7月31日生(影)
川本締示・由香さんご夫妻の長女です



尾谷千秋ちゃん
平成2年8月27日生(日浦)
尾谷倫章・佐緒里さんご夫妻の二女です

こんちわノ尾谷千秋です。私の名前は、お母さんがつけてくれました。やさしそうな名前です。でもお姉ちゃんの髪をひっぱって泣かしてしまう元氣者なんです。「マンマ。パッパ」と片言も話せるようになりました。お父さんが本を読んでいると「オーイ。アーイ」と言いながら、じゃまをしに行きます。「ゆつくり本も読めん」と、お父さん。お母さんが大好きな千秋ちゃんはお仕事から帰ってくるのを、おばあちゃんといっしょに待ちかねているそうです。



お詫びと訂正

先号の馬路婦人会による雲仙災害に対する募金で、東川部落(一四五二〇円)が脱落しておりました。お詫びして訂正いたします。

馬路、魚梁瀬俳壇

浪江

萩の花こぼるる峠フルマラソンのカーブすすき静かに

うなだれて

雅子

炎昼の新たな墓碑に問いかける蛇のやつ寺の石段だが打つぞ

千鶴子

送られし服を着てポーズ敬老日芋づるのように悪の世曼珠沙華

うた子

秋のどの蝶も名残と思いいけり秋なすび次々ちぎり合掌す

眸

虫と我のみの灯を消しにけりりりと鳴く虫一つ居て夕餉かな

百合子

病院は日傘雨傘忘れ傘

木の薫る客車に乗れば処処の秋

清子

初梁の五つ六つを御仏壇青柿が今日もころころ

落ちやまず

秋茄子を今日も飽かずに

喜美栄

帰らざる月日に老いる良夜かな

善心

霧たちが明日を知らせて

麗山子

ばりばりと帰郷の孫に至近雷青紫蘇を干してますます

過疎の里

癒えぬ傷夕はシャワー熱くせり

11月生おめでとーいっせーごます

父	母	赤ちゃん	続柄	生年月日	部落
井上博文	好実	真歩	長女	3、8、5	日浦

11月い福をお祈りします

氏名	性別	年令	死亡年月日	世帯主	続柄	部落
笹岡雪恵	女	94才	3、8、15	昌澄	祖母	朝日出
上治義榮	女	93才	3、9、8	義榮	本人	影
小松幸喜	男	64才	3、10、8	幸喜	本人	影